

## 社 報



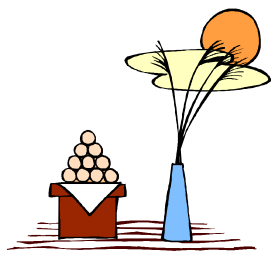
## 仕事の順序

## 公共工事削減

総選挙が終り、民主党に政権が移りました。補正予算の見直しなど、公共工事は大幅に削減される模様です。ですから自民党が良かったと言う人もいますが、現在の日本を考えると公共工事の削減はやむを得ないと思います。

しかし、自然災害など生活の安全を確保する公共工事については、大災害が起こってからでは手遅れです。

必要な公共工事は必ず行わねばなりません。



毎日の仕事の中で、「さてと・・・、何から始めるか・・・。」という状況になることがあります。

仕事には、優先順位があり人はそれを意識せずに、時には強く意識して優先する仕事決めています。

仕事優先順位を判断する基準として、最も重きを置くのが緊急性です。次の基準として大事なのが重要性です。この2つの項目を指標とすると、4つの分類が生まれます。

- 1、緊急かつ重要な仕事
- 2、緊急でないが重要な仕事
- 3、緊急だが重要でない仕事
- 4、緊急でも重要でもない仕事

この分類に基づいて、仕事の現在の状況を考えて、仕事の優先順位をランク付けすると良いでしょう。

今、建設業界では安全管理の手法として、リスクアセスメントの活用が叫ばれてますが、リスクアセスメントとは、このランク付けを言うのです。安全では、この緊急と重要という要素が、重大性と可能性(発生割合)という要素に変わります。

現場の安全リスクアセスメントにしても、仕事の優先順位のランク付けに

しろ、人はその場の状況に応じて、判断し選択をしています。

判断を間違いたい人はいないと思えますから、皆がいつも正しい判断をしていることにはなりますが、現実にはそうではありません。

良く、感情に左右されて判断を誤ると言われますが、日々の日常業務の中でも感情が判断を誤らせることもあるかと思えます。

それは、判断する自分自身に、「好み」、「好き・嫌い」があるという事です。好き嫌いには、業務とか作業そのものへの好き嫌いもあるでしょうし、人間関係の好き嫌いもあります。

こら辺を良く認識して、自分の癖を覚えておくことは必要なことです。では、具体的にどうすれば良いかと言えば、仕事の順序で、緊急でも重要でもない仕事がいつかあれば、その時には、自分が「嫌」と思うような仕事から取り掛かるべきであると思うのです。

そうすることで、仕事のセンスは向上しますし、同僚や先輩、ひいてはお客様からも評価されるわけです。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

## 整理・整頓は安全の基本

散らかっているから片付けをしよう、と言うのは間違いです。散らからないように片付けをしようと言うのが正解です。

前者の人は、仕事をしたら、散らかるのは仕方のないことで、散らかって仕事の効率が悪くなるなら片付けようと言う考えで、このような人は、いつも散らかった状況にある人です。

後者の人は、散らかったら仕事の効率が悪くなるので、そうならないように片付けを行います。ですから整理整頓が行き届いています。

モノの整理整頓は目で見て、すぐに判断することができます。プロであるからには、いつも片付いた状況で仕事を行うべきです。

## 2009年 安全成績

■現場災害 H21.1.1-H21.10.4	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 1
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 2
■交通災害 H21.1.1-H21.10.4	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 2
合計	----- 2